

大きく羽ばたけ

10/9 世界の大舞台で演奏 堂々の受賞

本市出身の高校生の安塚かのんさん（四季が丘）が、10月に開かれたスペシャルヴェニユ国際音楽コンクールのバイオリン16歳～20歳部門において、最高位にあたる「ライジングスターメディア賞」を受賞しました。ニューヨークカーネギーホールで開催されたこのコンクールには、世界各国からさまざまな国籍、年齢、音楽経験を持つ奏者が出場。安塚さんの独創性や創造性が高く評価されました。今後の活躍が楽しみです。



▲安塚さんは、3月にウッドワンさくらびあで、受賞記念コンサートを開催する予定です

市内で4棟目の登録へ

紺緞褒章

11/22 「山中家住宅土蔵」有形文化財に登録

宮島の「山中家住宅土蔵」が国土の歴史的景観に寄与しているものとして、国登録有形文化財（建造物）に登録されることになりました。同住宅土蔵は、宮島の東町にある、明治2年に建てられた呉服商の家財蔵で、壁の中に砂を充填してネズミの侵入を防ぐなど、反物を収納する呉服商施設ならではの長所を持っています。市内では、厳島神社宝物館、宮島歴史民俗資料館（旧江上家住宅）の主屋と蔵に続いて4棟目の登録となります。



▲山中家住宅土蔵の外観

11/25 地域経済社会の発展のため多大な寄付

企業版ふるさと納税を活用し、市に多大な寄付をされたとして、信金中央金庫の紺緞褒章伝達式を執り行いました。



▲褒状を伝達しました

木の特長を生かした逸品がそろう

11/30 木工工作コンクール表彰式

「令和6年度児童・生徒 木のまち木工工作コンクール」の表彰式が市役所で行われました。全93作品の中から受賞した作品は、木の特長を捉えたものや、子どもの豊かな発想力が生かされたものばかりでした。廿日市市長賞を受賞した地御前小学校4年熊野帆乃果さん、教育長賞を受賞した平良小学校5年佐藤暖真さんの作品は、全国大会に出品されます。



▲廿日市市長賞を受賞した熊野さん（写真左）



▲教育長賞を受賞した佐藤さん（写真左）

令和6年度前期 はつかいちさくら賞

※表彰式が行われた11月15日時点での情報です

金剛寺小学校1年 古藤 凜一さん



2024国際親善空手選手権大会に出場し、組手（6歳男子の部）で第3位。

広島大学4年 山本 匠真さん



ナッソー2024世界リレー（4×100mリレー）決勝に日本代表の第1走者として出場し、第4位。

山陽女学園中等部 テニス部



第12回全国選抜中学校テニス大会（団体戦）に出場し、優勝。

「はつかいちさくら賞」は、市の生涯学習の普及・推進に貢献した個人や団体を表彰するものです。

年頭の「ごあいさつ」

廿日市市長 松本 太郎

明けましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、良き新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返って

昨年は、「災害は時と場所を選ばない」ということを痛感させられる一年のスタートとなりました。

能登半島地震は、多くの犠牲者や被災者を生み、祝賀ムードを一変させました。

改めて、犠牲になられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々へのお見舞いを申し上げます。

本市からも被災地へ職員を派遣しましたが、一日も早い復旧、復興を心から願っています。

日本を震撼させた出来事があった一方で、新型コロナウイルス感染症の5類移行や歴史的な円安などが相まって国内の観光需要は活気を見せ、宮島を訪

れる観光客数は、過去最多となりました。こうした観光需要に的確に対応し、国際観光地にふさわしい持続可能な観光地域づくりを推進してまいります。

一方では、物価高騰が経済、市民生活に大きな影響を与えました。市としても、市民の安心はもろろんのこと、こうした両局面にある社会経済の安定に引き続き取り組んでまいります。

新たなまちづくりへ

令和7年度末で終期を迎える第6次廿日市市総合計画に続き、まちづくりの新たな指針となる次期廿日市市総合計画の策定に取り組んでいます。人口減少、少子化や超高齢社会の進展、長引く不安定な経済情勢など、先行き不透明な時代といわれる中、市民一人一人が幸せを実感できるまちづくりを考えてまいります。

子育てに優しいまちへ

「こどもが主役のまちはつかいち宣言」に基づき、子育て世代から選ばれ続けるまちづくりを推進してまいります。おとし開館した「フジタスクエアまるくる大野」は大変多くの方にご利用いただいています。今後も、子育てに喜びを感じ、子どもはその環境下で幸せに育ち、地域や企業がそれを支える社会の構築を目指してまいります。

環境に優しいまちへ

昨夏も全国各地での連日の猛暑日や記録的な高温など、地球温暖化の影響は年々激しさを増しているように感じています。CO2排出削減と経済成長を目的としたGX（グリーン・トランスフォーメーション）を推進していますが、7年度には自治体新電力会社を設立し、8年度から電力供給を開始する予定です。まずは、公共施設への供給

暮らしに便利なまちへ

DX（デジタル・トランスフォーメーション）を活用したスマート市役所の取り組みを順次拡大しています。どこにいてもスマートフォンで簡単に手続きできるスマート申請や、窓口で書類を書かなくて済むスマート窓口に切り替えています。また、市自主運行バスへのMOBI（MaaS）導入に併せて、高齢者運賃割引の本格導入に向けた実証実験を行うなど、皆さまの利便性向上に引き続き取り



組んでまいります。

また、昨年9月22日に利用が再開された「HIROHAI佐伯総合スポーツ公園」の野球場に続いて、7年度末には多目的広場が完成の予定です。スポーツができる環境を整えながら、より一層スポーツを核としたまちづくりを推進してまいります。

幸多き一年に

新しい年が、市民の皆さまにとりまして、健やかで喜びに満ちた一年となりますことを心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とします。